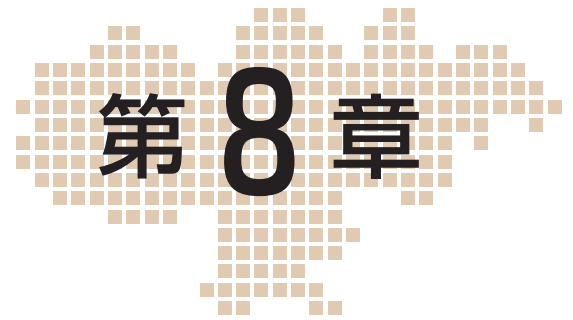


T
O
S
H
I
M
A



地域別事業計画

東部地域 [駒込、巣鴨、西巣鴨、北大塚、南大塚]

東部地域は、人口7万1千人、約3万6千世帯が暮らす地域です。ここ3年間で人口が約3千人増加しており、北部地域に次いで人口密度（227人/ha）が高い地域です。また、駒込、巣鴨、大塚のJR各駅周辺に商業施設や学校施設が多くあることから、夜間人口よりも昼間人口の方が多くなっています。

放射状に伸びる幹線道路と地下鉄が通っているため、都心方向へのアクセスが利便な地域です。

中高層のマンションが急速に増えつつある一方、古くからの個性ある商店街が形成され、その周囲に住宅地が広がり、染井公園や敷地規模の大きな教育施設等に、まとまりのあるみどりが残っています。

5月には満開のツツジに彩られる駒込駅の北西側一帯は、かつて「染井」と呼ばれ、江戸時代には榎木の一大生産地として栄えました。「ソメイヨシノ」の発祥の地でもあり、駒込のブランドづくりに向け、「染井の里づくり」を進めています。また、我が国初の栄養学の専門大学としての歴史を誇る女子栄養大学駒込キャンパスがあり、「食」を通じた健康増進の建学理念が地域の中で実践されています。

巣鴨は旧中山道の街道口にあたります。道中安全祈願の「江戸六地藏」のひとつ真性寺や、「とげぬき地蔵」の高岩寺の門前町としての地蔵通り商店街は、「おばあちゃんのお宿」として連日多くの人々で賑わっています。また、白山通りの道路拡幅事業により景観が大きく変貌した沿道の巣鴨駅前商店街では、アーケードにソーラーパネルが設置され、人にも環境にもやさしい街をアピールしています。

西巣鴨は、寺院が集まる寺町として親しまれる街であり、仏教宗派の壁を越えて開学された大正大学があります。また、戦前には大都映画撮影所であった旧朝日中学校は、現在、文化拠点「にしすがも創造舎」として生まれ変わり、地域の人々を巻き込んだ文化創造拠点として多彩な事業が展開されています。

大塚は、戦前には池袋をしのぐ繁華街として栄えました。都内で唯一の都電荒川線が交差する大塚駅前には、8月には大塚阿波踊りの舞台となり、毎年、観客を熱い祭りの渦に巻き込みます。平成21年度には、駅の南北自由通路が完成する予定で、さらに駅前広場や駐輪場の整備など、街の顔となる駅周辺の整備が進められています。



1	面積	311.4 ha
2	人口	70,616 人
3	人口密度	227 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	8.7 %
5	65歳以上の人口の割合	21.1 %
6	外国人人口の割合	6.1 %
7	一般世帯数	36,243 世帯
8	ファミリー世帯の割合	24.5 %
9	単独世帯の割合	58.9 %
10	昼間人口	79,260 人
11	昼間人口密度	255 人/ha
12	建築物の耐火率	70.4 %
13	一人あたりの公園面積	0.47 m ²
14	緑被率	11.5 %

【2～6】住民基本台帳及び外国人登録（平成21年1月）

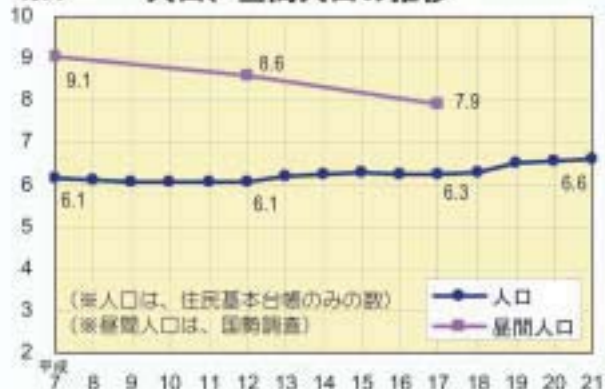
【7～11】国勢調査（平成17年）

【12】土地利用現況調査（平成18年）

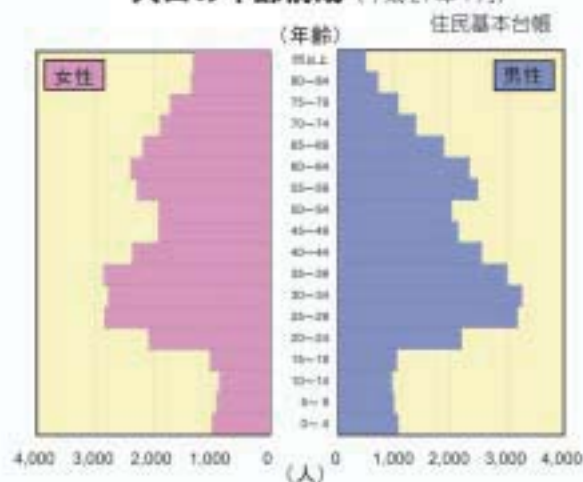
【13】公園・児童遊園現況一覧（平成20年4月）

【14】緑被現況調査（平成16年）

人口、昼間人口の推移



人口の年齢構成 (平成21年1月)



地域区民ひろばの展開状況



子どもスキップの展開状況



世帯の状況 (平成17年10月)

国勢調査

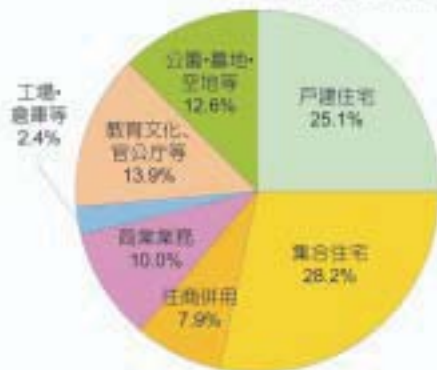


救援センターと対象区域



土地利用の状況 (平成18年)

土地利用状況調査(豊島区)



用途別・建物床面積の変化

土地建物調査(東京都主税局資料)



●東部地域

〔駒込、巣鴨、西巣鴨、北大塚、南大塚〕

清和小学校区の施設再構築

75 子どもスキップ事業

134 放課後子ども教室 137 地域区民ひろばの推進

清和小学校に隣接する巣鴨第一児童館を転用して、小学生の放課後対策である「子どもスキップ」(隣接型)、「区民ひろば清和第二」を展開します。

同時に、放課後子ども教室を実施します。

仰高小学校区の施設再構築

75 76 子どもスキップ事業、施設改修

134 放課後子ども教室 137 地域区民ひろばの推進

仰高小学校の敷地内において、平成21年度に児童育成室を改築し、小学生の放課後対策である「子どもスキップ」(敷地内型)を22年度から展開します。

また、駒込区民集会所の一部を転用して22年度中に「区民ひろば仰高」を展開します。

同時に、放課後子ども教室を実施します。

97 私立若草保育園の施設改修

平成21年度に若草保育園が老朽化した施設の改修や耐震補強工事を行うにあたって、区が経費の一部を補助します。

98 保育ママ事業

平成20年度に北大塚三丁目仮児童遊園を転用し、「施設提供型」の北大塚すくすくルームを開設しました。21年度には保育ママを1人増員し、定員を9人から12人に増やします。

113 特別支援教育の推進事業

朝日小学校において、情緒障害等通級指導学級(1学級、定員10名)を開設します。

157 「グリーンとしま」を再生するキックオフイベント事業

区立全小中学校に「学校の森」として植樹することで、子どもたちに生きた環境教育を行うとともに、緑と環境の区民フォーラムを実施します。

158 小・中学校校庭芝生化事業

環境配慮によるCO2削減や、みどりあふれる教育環境づくり、環境学習等の効果に着目し、平成20年度の巣鴨北中学校に続き、21年度は清和小学校の校庭の一部を芝生化します。

193 大塚駅南北自由通路の整備

JRによる大塚駅駅舎のバリアフリー改修工事にあわせ、南北自由通路を整備し、歩行者の利便性と回遊性の向上を図ります。平成21年度完成予定です。

194 大塚駅周辺整備事業

南北自由通路の整備に続く事業として、自転車駐車場や駅前広場再整備計画を策定します。

220 自転車駐車場の整備

JRの協力を得て、大塚駅南口の地下に1,000台規模、の自転車駐車場を整備します。また、大塚駅周辺に自転車置場(路上1,365台)を整備します。





272 地域ブランド創出支援事業

駒込地域において、「住みたいまち」としてのブランドを向上させるため、地域の歴史・文化を活かしながら、「染井の里づくり」として、平成20年度に整備した総合的なまちづくりを推進します。

301 南大塚ホールの改修

当初予定していた平成21年度からの工事を1年延期し、平成22年秋～23年夏に外壁、屋上、施設内部及び耐震など、老朽化した施設の改修工事を行います。

331 学校跡地本格活用基礎調査

平成20年度の調査結果を踏まえ、跡地活用の検討をさらに推進します。
 ○朝日中学校跡地 … 東鶴北中改装に伴う仮運動場整備 28・29年度
 スポーツセンター等整備の検討

北部地域 [上池袋、池袋本町]

北部地域は、人口3万2千人、約1万7千世帯が暮らす地域です。人口密度（243人/ha）は、5つの地域で最も高くなっています。また、地域の約6割が、住宅系の土地利用となっているため、西部地域とともに、この北部地域では、夜間人口が昼間人口よりも多くなっています。

JRの板橋駅、東武東上線の北池袋駅、下板橋駅の3駅があり、交通利便性も高い地域です。

池袋本町や上池袋の地域は、計画的な基盤整備が行われないまま、かつての集落や水田、畑地が宅地化した住宅地が多く、狭い道路が入り組み、住宅が密集する地域です。そのため、防災上の安全性を高める観点から、居住環境総合整備事業を行っています。

上池袋の明治通り沿道では、近年、中高層マンションの建設が相次ぎ、土地の高度利用が進み、人口の増加傾向が続いています。癌研究会附属病院の跡地では、住宅と公園を中心としつつ、防災にも配慮した規模の大きな開発が進められており、昨年4月に約4,000㎡の上池袋東公園の開設に続き、平成21年春頃には、住宅部分の整備も完了し、通研通りに新たな街並みが生まれます。

池袋本町は、板橋宿へと続く旧鎌倉街道沿いに発達した旧池袋村の本村の名を受け継ぐ地域であり、明治期までは、池袋付近における中心的な集落が形成されていました。村の鎮守である氷川神社や、現在では、緑道として整備された旧谷端川など、歴史を感じさせる落ち着いた雰囲気を感じられます。

この地域には、池袋中学校と池袋第二小学校、文成小学校がありますが、今後、二つの小学校を統合して改築するとともに、池袋中学校についても改築を計画しています。

また、清掃車庫跡地における広場整備や、防災センター用地、学校統合により生まれる用地の活用、板橋駅のJR社宅跡地の開発など、今後10年間のなかで、街づくりが大きく展開することが予想され、新たな発展が期待できる地域でもあります。

さらに長期的には、地域の縦横に計画されている補助82号線、73号線の整備も課題となっています。



1	面積	131.7 ha
2	人口	32,028 人
3	人口密度	243 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	8.7 %
5	65歳以上の人口の割合	20.8 %
6	外国人人口の割合	7.1 %
7	一般世帯数	16,846 世帯
8	ファミリー世帯の割合	22.8 %
9	単独世帯の割合	61.6 %
10	昼間人口	22,129 人
11	昼間人口密度	168 人/ha
12	建築物の耐火率	59.6 %
13	一人あたりの公園面積	0.93 ㎡
14	緑被率	10.3 %

【2～6】住民基本台帳及び外国人登録（平成21年1月）

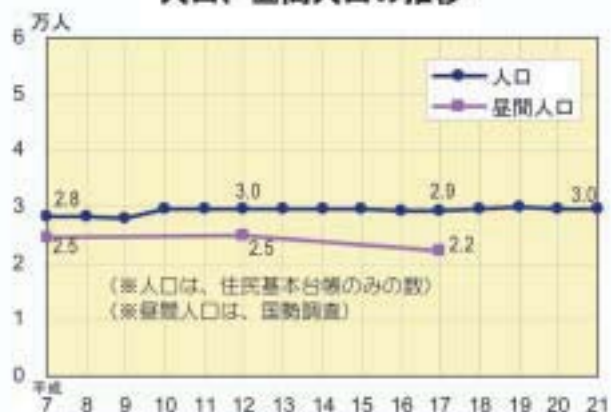
【7～11】国勢調査（平成17年）

【12】土地利用現況調査（平成18年）

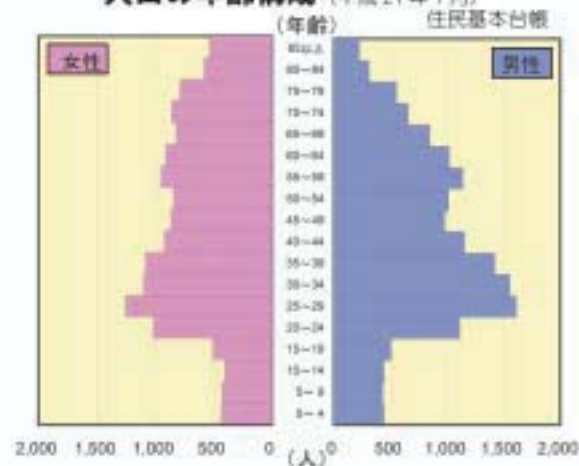
【13】公園・児童遊園現況一覧（平成20年4月）

【14】緑被現況調査（平成16年）

人口、昼間人口の推移



人口の年齢構成 (平成21年1月)



●北部地域

〔上池袋、池袋本町〕

101 保育園改修中の仮園舎整備

池袋第二保育園について、平成 21 年度に施設改修を行います。改修中は、防災広場の仮園舎に移転します。

127 池袋第二小学校と文成小学校統合の推進

① 「区立小・中学校の適正化 第二次整備計画」に基づき、平成 26 年 3 月に、両校を閉校するとともに、4 月から現文成小学校を仮校舎として、統合後の新小学校を開校します。

② 「区立小・中学校改築計画」の前期計画に基づき、現池袋第二小学校と防災広場を合わせた敷地に、平成 28 年 4 月の開校を目指し、池袋中学校の新校舎を整備します。

③ 現池袋中学校の敷地に、平成 30 年 4 月の開校を目指し、統合新小学校の新校舎を整備します。

152 公園の改修及び再整備(宮仲公園)

水道局の占用期間が平成 21 年度初号で終了します。平成 21 年度に復旧工事を行います。

157 「グリーンとしま」を再生するキックオフイベント事業

区立全小中学校に「学校の森」として植樹することで、子どもたちに生きた環境教育を行うとともに、緑と環境の区民フォーラムを実施します。

201 区営池袋本町二丁目住宅の建替え

老朽化が進んでいるため、平成 20、21 年度に建替えるとともに、戸数の増を回ります。(区営住宅 12 戸、福祉住宅 13 戸予定)



中央地域 [東池袋、南池袋(一部)、西池袋(一部)、池袋]

中央地域は、人口4万6千人、約2万4千世帯が暮らす地域です。この地域の昼間人口は、約17万人であり、昼間人口密度は626人/haになります。单身男性の若年者が多く住むのもこの地域の特徴です。

一日271万人の乗降客がある埼玉方面からのターミナル池袋駅を中心として、東京の副都心として、また、豊島区を中心として、商業、業務、文化の施設や機能が集積しています。

20周年を迎えた池袋演劇祭や東京芸術劇場、個性的な劇場の集積など、池袋副都心は「演劇の街・池袋」としての特徴を持っています。

平成19年にオープンした新劇場「あうるすぽっと」は、質の高い劇場として高く評価され、年間の来館者数が100万人を超える中央図書館とともに、池袋の新たな文化発信拠点となっています。

また、赤レンガに蔭の絶える風格ある立教大学や平成20年4月に池袋キャンパスを開校した帝京平成大学などの数多くの教育機関の立地する街でもあります。

中央地域では、環状5の1号線、補助61号線、補助172、173号線、さらには環状6号線など、現在、池袋副都心を取り巻く都市計画道路の整備が大きく進みつつあります。

さらに、池袋西口駅前広場のリニューアルや、新庁舎の建設、東西デッキの整備、LRT構想など、池袋副都心は、今後10年間で大きく生まれ変わる可能性を秘めています。

平成20年6月には、地下鉄副都心線が開業し、池袋副都心は、駅の東西の特徴を活かしつつ、より広がりのある回遊性の高い都市づくりへの展開を強く求められています。

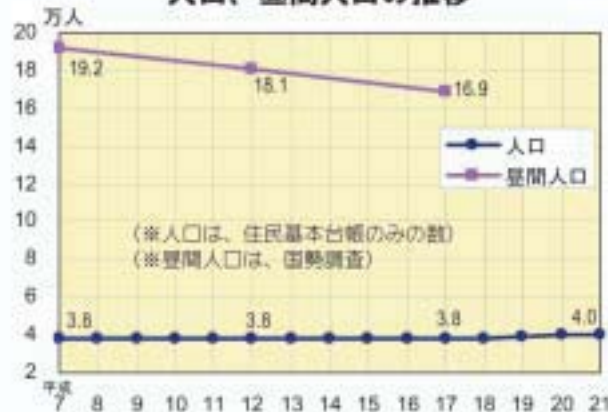
多くの人々が住む副都心、駅を中心とした比較的にコンパクトな姿、みどり豊かなグリーン大通りなど、こうした特徴を強味として活かすとともに、都心部や新宿、渋谷などに追いつくという発想ではなく、池袋駅の東西南北の一体性を重視しながら、「文化によるにぎわいの創出」と「人と環境への優しさ」をコンセプトとして、将来の“ブランドビジョン”を描き、東京のなかでも独自の個性と存在感を発揮する街に成長していくことが必要です。



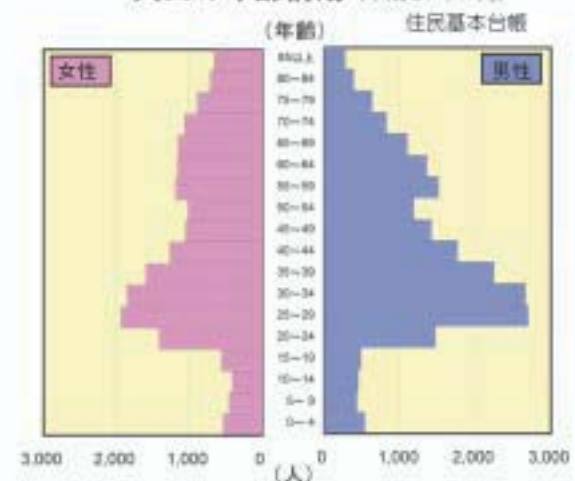
1	面積	270.1 ha
2	人口	45,975 人
3	人口密度	170 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	7.0 %
5	65歳以上の人口の割合	19.1 %
6	外国人人口の割合	12.1 %
7	一般世帯数	24,343 世帯
8	ファミリー世帯の割合	20.8 %
9	単独世帯の割合	63.9 %
10	昼間人口	169,212 人
11	昼間人口密度	626 人/ha
12	建築物の耐火率	81.1 %
13	一人あたりの公園面積	1.22 m ²
14	緑被率	8.5 %

【2～6】 住民基本台帳及び外国人登録 (平成21年1月)
 【7～11】 国勢調査 (平成17年)
 【12】 土地利用現況調査 (平成16年)
 【13】 公署・児童遊園現況一覧 (平成20年4月)
 【14】 緑被現況調査 (平成16年)

人口、昼間人口の推移



人口の年齢構成 (平成21年1月)



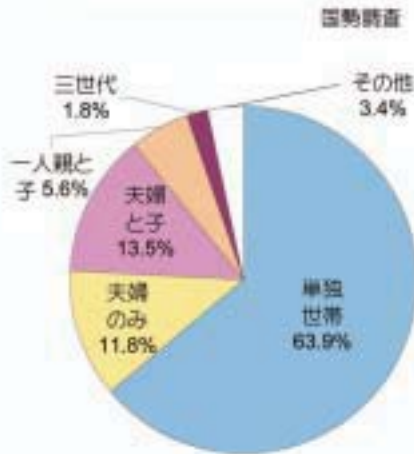
地域区民ひろばの展開状況



子どもスキップの展開状況



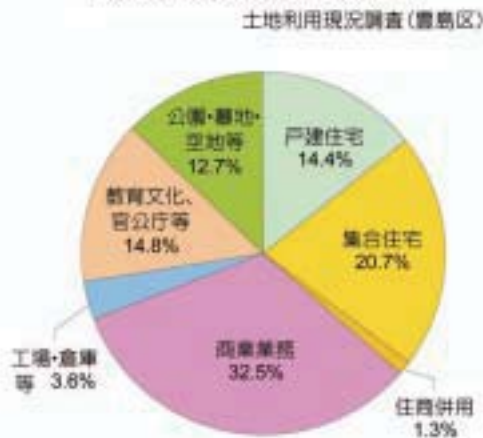
世帯の状況 (平成17年10月)



支援センターと対象区域



土地利用の状況 (平成18年)



用途別・建物床面積の変化



●中央地域

〔東池袋、南池袋(一部)、西池袋(一部)、池袋〕

144 地域密着型サービス等の基盤整備

民間事業者に区有地を貸付け、介護保険施設(地域密着型サービス)を整備する。

126 西池袋中学校の建替え

旧真和中学校の敷地において21年度中に仮校舎を整備し、平成24年4月の新校舎開校に向けて22、23年度に建替えを行います。また、西池袋温水プールは21年度末をもって廃止します。

152 公園の改修及び再整備(南池袋公園)

東京電力地下変電所設置工事に伴い、平成21年度の途中から、部分的な開放となります。平成25～26年度に復旧工事を行い、より快適な公園として再整備します。

157 「グリーンとしま」を再生するキックオフイベント事業

区立全小中学校に「学校の森」として植樹することで、子どもたちに生きた環境教育を行うとともに、緑と環境の区民フォーラムを実施します。

158 小・中学校校庭芝生化事業

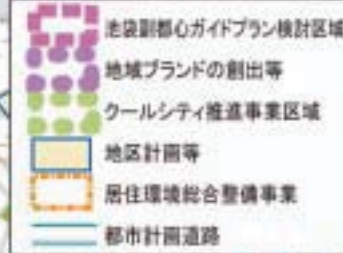
環境配慮によるCO₂削減や、みどりあふれる教育環境づくり、環境学習等の効果に着目し、平成22年度に南池袋小学校の校庭の一部を芝生化します。

161 クールシティ推進事業

ヒートアイランド対策として、副都心の一定区域内の事業者から構成する協議会を設置、運営し、緑化を促進します。

185 池袋副都心整備ガイドプラン推進事業

「池袋副都心ランドビジョン2009」実現に向けた工程表として、都市再生緊急整備地域の指定も視野にいたした「ガイドプラン」を策定します。また、造幣局を含む「東池袋まちづくり」にも取り組んでいきます。



- 186 東池袋四丁目市街地再開発事業(第2地区)**
平成22年度を目途として、緑のネットワークづくりや地下歩行者用通路、都市型住宅等を整備します。
- 187 南池袋二丁目A地区市街地再開発事業**
平成21年度は都市計画決定や事業計画策定を進めます。この地区は新庁舎整備の計画地であり、平成26年度に施設建築物の工事完了を目指します。
- 188 南池袋二丁目地区街区再編街づくり推進事業**
B・C地区について、まちづくりを考える協議会を設置し、運営していきます。



189 池袋西口駅前街区街づくり推進事業
西口地区の新たな街づくり構想を、地元・地権者等との協働により策定します。

191 池袋駅及び駅周辺整備
事業化に向けて、調査を実施します
・東西デッキ整備
・東口駅前広場の再整備
・駅のサイン及びバリアフリー環境の向上

192 池袋西口駅前広場の改修
平成22年度の完了に向けて副都心の顔にふさわしい駅前広場として改修を進めます。環境に配慮した路面の温度上昇を抑制する遮熱性舗装を行います。

207 都市計画道路補助173号線の整備
池袋駅へのアクセス機能向上を図るとともに、安全で快適な道路空間を確保するため、平成26年度の完成を目指し、幅員18mの道路を整備します。

208 都市計画道路補助175号線の整備
東池袋四丁目市街地再開発事業による道路整備に合わせ、平成22年度完了を目指して幅員18mに拡幅整備します。

209 都市計画道路補助176号線の整備
補助81号線の整備(都施行)に合わせ、平成23年度完了を目指して幅員11mの道路を整備します。

211 学園通りづくり
平成20年4月に開校した帝京平成大学までの経路(平成22年度整備完了)に加え、今後、西口の立教大学等へも整備を進めます。

220 自転車駐車場の整備
JRや東京メトロの協力を得て、池袋駅東口駅前公園横自転車駐車場(250台)、池袋駅南口地下自転車駐車場(400台)を整備します。

222 自転車利用空間ネットワークの整備
劇場通り(川越街道～勤労福祉会館)において、歩行者の安全に配慮した自転車走行空間を整備します。

225 新たな公共交通システムによる交通戦略調査
LRT(最新鋭路面電車)整備を基軸として、歩行者優先ゾーンの創出、他の公共交通との連携等総合的な都市交通戦略を検討し、関係各機関と協議調整を進めていきます。

211 学園通りづくり

225 新たな公共交通システム調査(LRT)

186 東池袋四丁目第2地区市街地再開発事業

220 自転車駐車場の整備

152 公園の改修及び再整備

153 南池袋二丁目地区街区再編街づくり推進事業

157 「学校の森」植樹

158 小・中学校校庭芝生化事業

239 居住環境総合整備事業(東池袋4・5丁目)

244 補助81号線街路整備と沿道まちづくり

208 補助175号線の整備

157 「学校の森」植樹

244 補助81号線街路整備と沿道まちづくり

209 補助176号線の整備

239 居住環境総合整備事業(東池袋4・5丁目地区)

270 勤労福祉会館の改修

303 生涯学習センターの整備

309 ICTタグの地域館への導入

南部地域 [雑司が谷、高田、目白、南池袋(一部)、西池袋(一部)]

南部地域は、人口4万3千人、約2万3千世帯が暮らす地域です。夜間人口より昼間人口の方が多く、中央地域とともに人口密度(170人/ha)が最も低い地域となっています。

地域全体では、土地利用の52%が住宅系であり、学習院大学や雑司ヶ谷公園など、大規模な緑地をはじめ、みどり豊かな地域でもあり、緑被率も19.4%と5つの地域の中でも最も高くなっています。

雑司が谷は、池袋に隣接する地域ながら、鬼子母神、法明寺などの寺社、古い家並み、文化人が眠る雑司ヶ谷公園、手塚治虫が創作活動を行った並木ハウス、旧宣教師館、そして100周年を迎えた東京音楽大学など、歴史と文化を感じさせる魅力に溢れ、静かでどこか懐かしい雰囲気漂う街です。

平成20年6月、地下鉄副都心線「雑司が谷駅」が開業しましたが、環状5の1号線の整備工事も進められており、交通利便性の向上が期待されます。

目白は、目白通りを中心に、学習院大学や日本女子大学などが立地する学生の街であるとともに、個性的なギャラリーや切手の博物館、歴史を感じさせる教会や洋館など山手文化が息づく街です。さらに、西武池袋線を挟み、フランク・ロイド・ライトが設計した重要文化財・自由学園明日館、鈴木三重吉により創刊された童話雑誌「赤い鳥」に因んで命名された数寄屋造りの茶室「赤鳥庵」を配した回遊式庭園「目白庭園」など、大正デモクラシーの息吹を伝える文化資源にも恵まれています。また、目白通りから一歩入ると、東京のなかでもブランド力の高い閑静な住宅地が形成され、成熟した行まいを見せています。平成17年からは、目白の魅力をアピールする新たな取り組みとして、「目白バ・ロック音楽祭」が開催されています。

目白から高田にかけては、神田川に向けて急傾斜地となっており、「坂飯」や「胸突坂」など、多くの坂や学習院大学南側のみどり豊かな崖線は、この地域ならではの景観を見せています。坂を下った神田川沿いは桜の名所でもあり、目白の地名の由来である目白不動を祀る金乗院などの寺社が点在しています。

また、高田は、昔から工場が多く立地する地域でしたが、近年では、事務所やマンションへの転用が進みつつあります。高田は、現在でも、手描き友禅など江戸の伝統工芸が受け継がれている街でもあります。



1	面積	250.9 ha
2	人口	42,647 人
3	人口密度	170 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	9.6 %
5	65歳以上の人口の割合	18.9 %
6	外国人人口の割合	5.7 %
7	一般世帯数	22,815 世帯
8	ファミリー世帯の割合	25.7 %
9	単独世帯の割合	58.0 %
10	昼間人口	58,679 人
11	昼間人口密度	234 人/ha
12	建築物の耐火率	66.0 %
13	一人あたりの公園面積	0.82 m ²
14	緑被率	19.4 %

【2~6】住民基本台帳及び外国人登録(平成21年1月)

【7~11】国勢調査(平成17年)

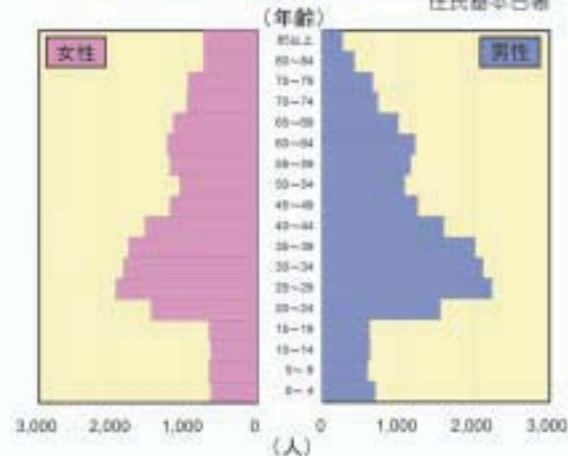
【12】土地利用現況調査(平成16年)

【13】公園・児童遊園現況一覧(平成20年4月)

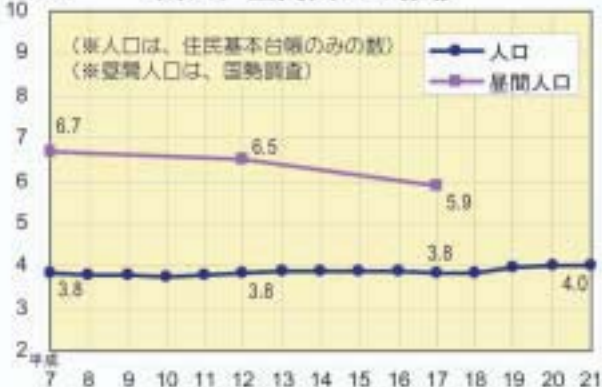
【14】緑被現況調査(平成16年)

人口の年齢構成(平成21年1月)

住民基本台帳



人口、昼間人口の推移



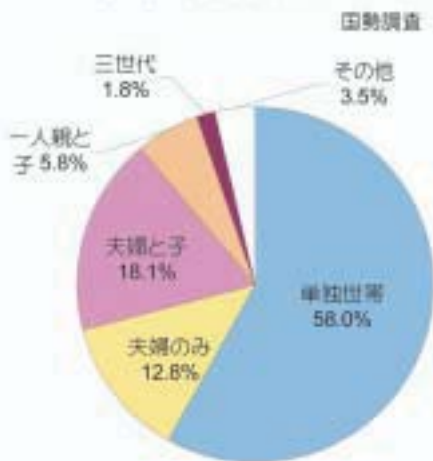
地域区民ひろばの展開状況



子どもスキップの展開状況



世帯の状況 (平成 17 年 10 月)



救援センターと対象区域



土地利用の状況 (平成 18 年)

土地利用現況調査(豊島区)



用途別・建物床面積の変化

土地建物調査(東京都主税局資料)



●南部地域

〔雑司が谷、高田、目白、南池袋(一部)、西池袋(一部)〕



125 目白小学校の建替え

旧真和中学校の敷地において 21 年度中に仮校舎を整備し、平成 26 年 4 月の新校舎開校に向けて 24、25 年度に建替えを行います。なお、仮校舎については、旧真和中学校の施設を使用します。

126 西池袋中学校の建替え

旧真和中学校の敷地において 21 年度中に仮校舎を整備し、平成 24 年 4 月の新校舎開校に向けて 22、23 年度に建替えを行います。また、西池袋温水プールは 21 年度末をもって廃止します。

153 高田小跡地における公園整備

平成 26 年度の開設を目指し、防災機能を有した近隣公園としての整備を進めます。また、救護センターとしての機能を存続させる方を検討します。

157 「グリーンとしま」を再生するキックオフイベント事業

区立全小中学校に「学校の森」として植樹することで、子どもたちに生きた環境教育を行うとともに、緑と環境の区民フォーラムを実施します。

158 小・中学校校庭芝生化事業

環境配慮によるCO2削減や、みどりあふれる教育環境づくり、環境学習等の効果に着目し、平成 22 年度に南池袋小学校の校庭の一部を芝生化します。

187 南池袋二丁目A地区市街地再開発事業

平成 21 年度は都市計画決定や事業計画策定を進めます。この地区は新庁舎整備の計画地であり、平成 26 年度に施設建築物の工事完了を目指します。

188 南池袋二丁目地区街区再編街づくり推進事業

B・C地区について、まちづくりを考える協議体を設置し、運営していきます。

195 椎名町駅周辺整備事業

山手通りの椎名橋下空間を活用して、駅前広場や自転車駐車を整備するとともに、駅舎改善（バリアフリー化）に合わせて横断施設を整備します。平成 23 年度の完成を目指します。

215 目白駅周辺の区道整備

目白ブランドの向上に向け、「学習院橋の坂」における電線地中化等の整備、「F.L. ライトの小路」における景観に配慮した道路整備(23 年度完了)を行います。

220 自転車駐車場の整備

現状 5 の 1 号線の土地を活用した雑司が谷駅周辺の駐輪場の移転整備を行います。

270 勤労福祉会館の改修

当初予定していた平成 22 年度からの大規模改修を平成 24 年度に延期しました。工事では外壁、屋上、トイレ、内部設備等を更新します。

272 地域ブランド創出支援事業

目白地域において、「住みたいまち」としてのブランドを向上させるため、地域の歴史・文化を活かしながら、ハードからソフトまで、個性と魅力を高める総合的なまちづくりを推進します。

280 トキワ荘・並木ハウス関連事業

手塚治虫が創作活動を行った「並木ハウス」が現存する雑司が谷地域において、歴史文化と漫画文化の融合を図りつつ、景観や環境に配慮したまちづくり基礎調査を実施します。

313 雑司ヶ谷霊園とその界隈のガイド作成

雑司ヶ谷霊園に眠る文化人、著名人の紹介や周辺の歴史・文化を網羅した霊園を訪ね歩く際のガイド資料を作成します。



西部地域 [南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川]

西部地域は、人口6万9千人、約3万8千世帯が暮らす地域です。夜間人口が昼間人口よりも多く、約2万人上回っています。5つの地域のなかでは、南部地域とともにファミリー世帯の割合 25%超と比較的高い地域でもあります。

土地利用は住宅系が約7割を占め、千早、千川、高松の一部には、敷地規模が比較的大きな戸建住宅が多く、生け垣や庭木などのみどり豊かな住宅地があります。また、大正から昭和初期にかけて、広い範囲で耕地整理が行われたため、地域の大部分には碁盤の目状に道路が走っています。

この地域には、有楽町線の要町駅と千川駅、西武池袋線の椎名町駅と東長崎駅、そして平成9年には、地下鉄大江戸線の落合南長崎駅が開業し、さらに平成20年6月の副都心線開通により、要町駅と千川駅から、池袋で乗り換えることなく、新宿、流谷方面への移動が可能になり、交通利便性がさらに高まりました。

長崎、千早、要町などの旧長崎町地区は、江戸の近郊農村として栄え、五穀豊穡を願う長崎神社の「獅子舞」や、富士講信仰により造られた浅間神社の富士塚などの貴重な民俗文化が今に伝えられています。

また、大正末から昭和初期にかけて、多数のアトリ工付き借家群が建てられ、若き画家や詩人らが住み、創作活動に切磋琢磨する「アトリエ村」が形成されていました。彼らは夜毎池袋に練り出しては芸術譚をたたかかせ、自由でモダンズムに溢れた交流を繰り広げました。そうした光景を詩人小堀秀雄は、パリに因んで「池袋モンパルナス」と称しました。アトリエ村のほとんどは戦災で焼失してしまいましたが、「池袋モンパルナス」ゆかりの芸術家である熊谷守一の旧宅跡に建てられた熊谷守一美術館を、平成19年度に区立施設とし新たに開設し、地域の歴史を受け継いでいくことにしました。

そして、南長崎(旧椎名町)には、手塚治虫をはじめ、石ノ森章太郎、赤塚不二夫、藤子不二雄等の日本漫画史にその名を刻む多くの漫画家たちが、若き青春の日々を過ごした「トキワ荘」がありました。老朽化により取り壊されてしまいましたが、「トキワ荘」の名は漫画ファンの聖地として語り継がれています。

平成21年4月、近隣の長崎花咲公園内にトキワ荘の記念碑が設置されます。



1	面積	336.9 ha
2	人口	69,359 人
3	人口密度	206 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	8.4 %
5	65歳以上の人口の割合	22.1 %
6	外国人人口の割合	3.7 %
7	一般世帯数	37,971 世帯
8	ファミリー世帯の割合	25.2 %
9	単独世帯の割合	58.2 %
10	昼間人口	49,193 人
11	昼間人口密度	146 人/ha
12	建築物の耐火率	55.3 %
13	一人あたりの公園面積	0.66 ㎡
14	緑被率	12.0 %

[2~6] 住民基本台帳及び外国人登録 (平成21年1月)

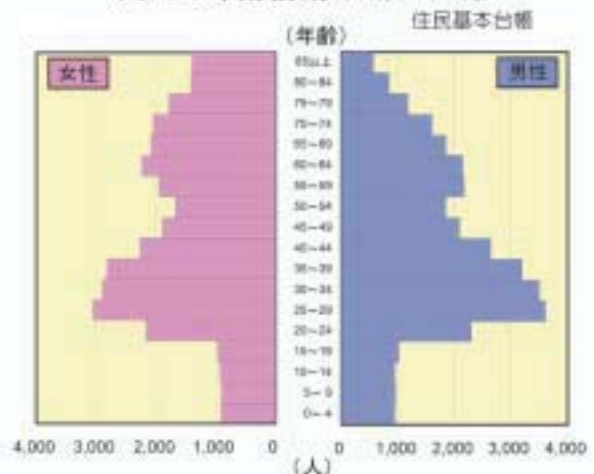
[7~11] 国勢調査 (平成17年)

[12] 土地利用現況調査 (平成18年)

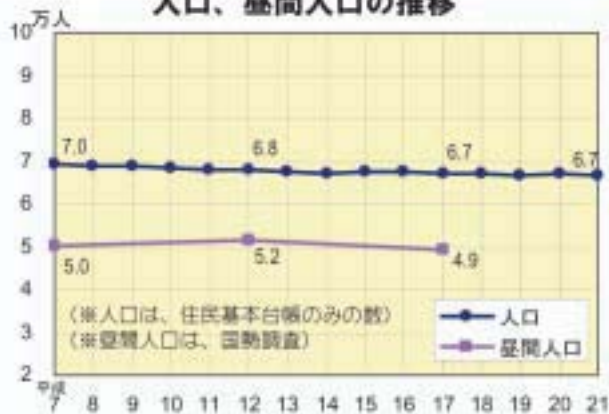
[13] 公園・児童遊園現況一覧 (平成20年4月)

[14] 緑被現況調査 (平成16年)

人口の年齢構成 (平成21年1月)



人口、昼間人口の推移



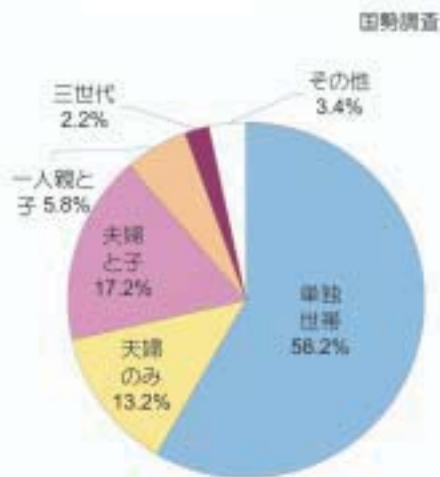
地域区民ひろばの展開状況



子どもスキップの展開状況



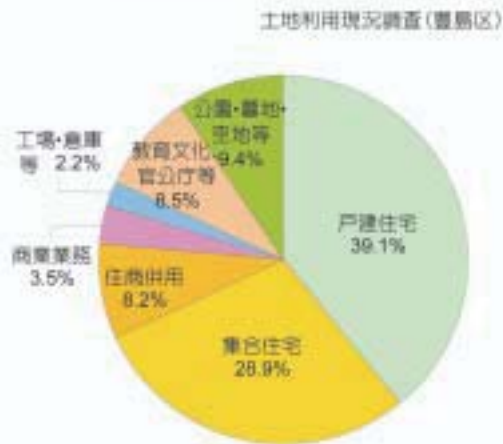
世帯の状況 (平成 17 年 10 月)



救援センターと対象区域



土地利用の状況 (平成 18 年)

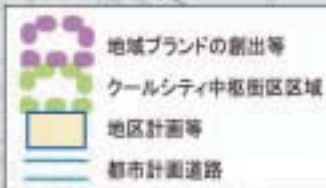


用途別・建物床面積の変化



●西部地域

〔南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川〕



81 「愛の家ファミリーホーム・愛の家保育園」建替え支援
老朽化にともなう施設改築を円滑に進めるため、区が仮設施設用地の一部を提供するとともに、整備経費の一部を補助します。

126 西池袋中学校の建替え
旧真和中学校の敷地において 21 年度中に仮校舎を整備し、平成 24 年 4 月の新校舎開校に向けて 22、23 年度に建替えを行います。また、西池袋温水プールは 21 年度末をもって廃止します。

138 区民ひろば施設の改修
南長崎第四区民集会所を 23 年度に改修し、現在南長崎幼稚園に併設している「区民ひろば椎名町」を移転して、24 年度より事業を展開します。

152 公園の改修及び再整備（椎名町公園）
山手通りの椎名橋の架け替え工事に合わせ、平成 21 年度に、椎名町公園に仮設している自転車駐輪場を移設し、復旧改修工事を行います。

154 西椎名町公園の拡張整備
豊島プールの解体に伴い、平成 21、22 年度にかけて、防災機能を充実させた公園の暫定整備を行います。

157 「グリーンとしま」を再生するキックオフイベント事業
区立全小中学校に「学校の森」として植樹することで、子どもたちに生きた環境教育を行うとともに、緑と環境の区民フォーラムを実施します。

158 小・中学校校庭芝生化事業
環境配慮によるCO2削減や、みどりあふれる教育環境づくり、環境学習等の効果に着目し、平成 22 年度に長崎小学校の校庭の一部を芝生化します。

195 椎名町駅周辺整備事業
山手通り椎名橋下空間を活用し、駅前広場や自転車駐輪場を整備するとともに、駅舎改善（バリアフリー化）に合わせて横断施設を整備します。平成 23 年度完成を目指します。

220 自転車駐車場の整備
要町駅周辺に自転車置場（路上 70 台）を増設します。

279 西部複合施設文化拠点準備事業
平和小学校跡地に開設予定の文化施設における展示テーマ、展示構想、展示計画等について、検討を行います。

280 トキワ荘・並木ハウス関連事業
平成 21 年 4 月に南長崎花塚公園内に近隣にあった「トキワ荘」の記念碑を設置します。

309 ICタグの地域館への導入
平成 23 年度に千早図書館にICタグと自動貸出機を導入します。

318 (仮称)南長崎中央公園の整備
長崎中学校跡地に、スポーツ・防災の機能を備えた公園を整備します。
また、敷地の一部を民間事業者に貸し付け、財源確保とまちのにぎわい等の創出を図ります。
24 年度：プール・体育館・駐輪場等開設
25 年度：多目的広場・公園等開設

319 豊島体育館の改修
平成 20～21 年度 耐震工事、バリアフリー・屋根等の改修、冷暖房設備設置などを実施します。(このため、21 年 7 月まで休館)

321 豊島プールの解体
現在休止している施設を廃止し、平成 20～21 年度に解体します。
解体後、西椎名町公園の暫定整備を行います。

331 学校跡地本格活用基礎調査
平成 20 年度の調査結果を踏まえ、跡地活用の検討をさらに推進します。
○千川小学校跡地…
運動機能に配慮した近隣公園
21 年度 用地測量
○第十中学校跡地…
野外スポーツ施設
24 年度 計画・設計

332 平和小学校跡地複合施設の整備
平成 26 年度の開設を目指し、西部区民事務所、西部保健福祉センター、長崎健康相談所、千早地域文化創造館、千早図書館、地域区民ひろば、文化施設の機能を備えた複合施設を整備します。
また、工事期間中、西部区民事務所の仮事務所を旧第六出張所に設置します。
統合した施設は、施設整備の経費に充てるため、27 年度以降廃止し、資産活用（売却・貸付）を図ります。
なお、郷土資料館の移転についても検討します。



未来戦略推進プラン2009

—基本計画・実施計画—

平成21年（2009年）3月

編集・発行 豊島区 政策経営部 企画課

〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1

TEL (03) 3981-1111 (代表)